

2. 魚市場前の防潮堤整備計画について

(1) 計画概要

- ・ 防潮堤延長：約 L=1,300 m 【陸閘 N=7 箇所，乗越道路 N=1 箇所】
- ・ 計画高：T.P.+5.0m
- ・ 構造等：特殊堤（L型）



(2) これまでの経過（主な説明会のみ記載）

- ・ H25.10.3：住民説明会【魚市場前地区・港町地区】
- ・ H26.6.4：第1回気仙沼魚市場整備検討会にて説明
- ・ H26.6.17：住民説明会【魚市場前】
- ・ H26.11.21：気仙沼水産業復興対策本部にて説明
- ・ H26.11.29：第2回気仙沼魚市場整備検討会にて説明
- ・ H26.12.12：魚市場利用者説明会
- ・ H27.3.26：住民説明会【魚市場前地区・港町地区】
- ・ H27.6.8：住民説明会【魚市場前地区】

(3) 住民等の合意状況

魚市場前の防潮堤については、背後の水産加工施設等集積地や土地区画整理事業区域におよぼす津波の影響が大きいことから、市としても計画通りの高さでの施工が必要な施設と認識している。

これまで県主催の説明会では、防潮堤の高さや必要性については、概ね理解をいただいていたが、気仙沼漁協からは、魚市場の出入りのしやすさに関して指摘があったことから、出入り口としての陸閘を7箇所を合計115m

(被災前は9箇所で合計70.1m)とする調整を行い、加えて乗り越し道路1箇所を確保することとしている。

さらに魚市場構内道路と臨港道路との見通しの確認を求め、防潮堤の位置の変更を求める意見もあるが、臨港道路西側にはすでに多くの水産加工場等が再建されており、防潮堤の設置は難しいと考えていることから、そのような意見に対しても、従前に比し各スペースが拡大されている現在の計画を丁寧に説明し理解を求めていくこととしており、その県の方針に沿って、市としても協力し取り組んでいく。

(4) 今後の整備見通し

県においては、水産関係団体に対し、再度、説明した上で、最終的な全体説明会を開催したい意向である。

(5) その他

平成27年6月8日開催の説明会資料抜粋